



特集

9月1日(月)から11月30日(日)まで

デマンド交通試行運転開始

「バスの本数が少ない」「駅まで交通の便が悪い」「買い物に行く方法がない」などの問題解決の一つとして、9月からデマンド交通を試行運転します。今月はその内容をご紹介します。 国土政策推進室 内線423

愛称は『のぞみカー』

バスでもタクシーでもない
新しい公共交通
それが「デマンド交通」。

利用には
事前登録が必要です。
1人1回利用で
300円です。



町に住み続けたくない理由の一番は「交通が不便」

平成22年度に行った住民意識調査の結果、町に住み続けたくない一番の理由は「交通が不便」であるという結果となり、二番目には「買い物など日常生活が不便」と続き、日常生活の利便性を向上させることが課題となっています。

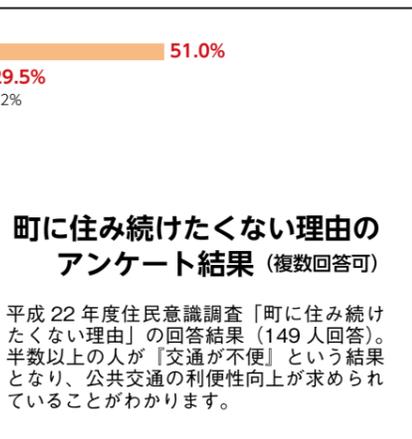


使用される車両。実際にはステッカーが車体に貼られます。

今の公共交通の課題とは

ます。

三芳町全域で、日常生活において、

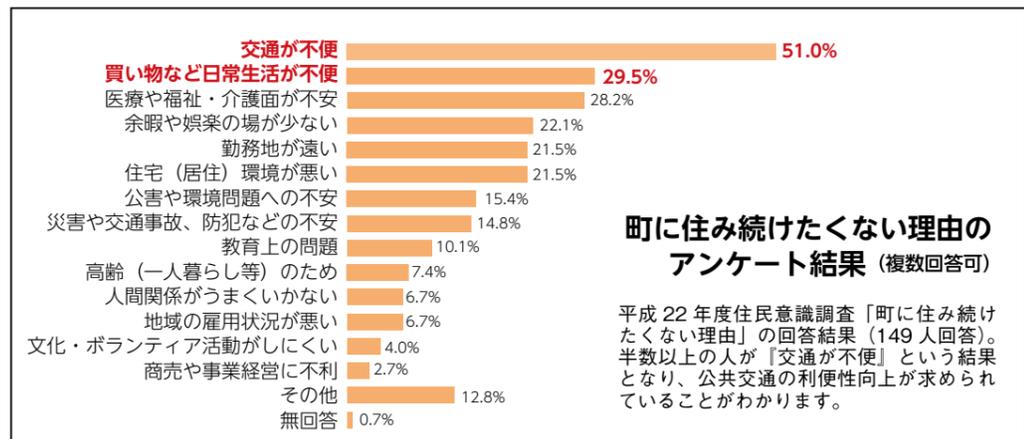


デマンド交通を実施した川越市の担当者のお話

川越市では昨年の10月末から12月末の2か月間、川越市東部の交通不便地域でデマンド交通実証実験を行いました。2回以上利用した人の理由が「停留所が自宅から近かった」という意見が多く、歩かずに利用できるサービスが評価されたようです。上手にこのデマンド交通を使うことで、日常生活の利便性が上がると思います。最初は分かりにくいサービスと感じるかもしれませんが、一度利用してしまえばとても有効な公共交通サービスのひとつだと思います。

川越市都市計画部交通政策課

佐藤 欣也さん



利用しづらい世帯を
約60%から約6%へ

町内世帯の約60%が公共交通を利用しづらい地域となっています(右ページ下部表参照)。交通空白地域を含む町内全域を対象とする共通乗降場方式のデマンド交通を実施することで利用しづらい世帯を約6%まで減少させることができます。

では実際に、どのように利用すればよいのかなどの流れを次のページで紹介いたします。

デマンド交通とは?

デマンドを日本語で言い換えると「需要」という意味になります。住民の需要にあった公共交通を予約に基づき提供する、という意味からデマンド交通とされています。親しみやすいデマンド交通となるように愛称を公募し、「のぞみカー」が選ばれました。



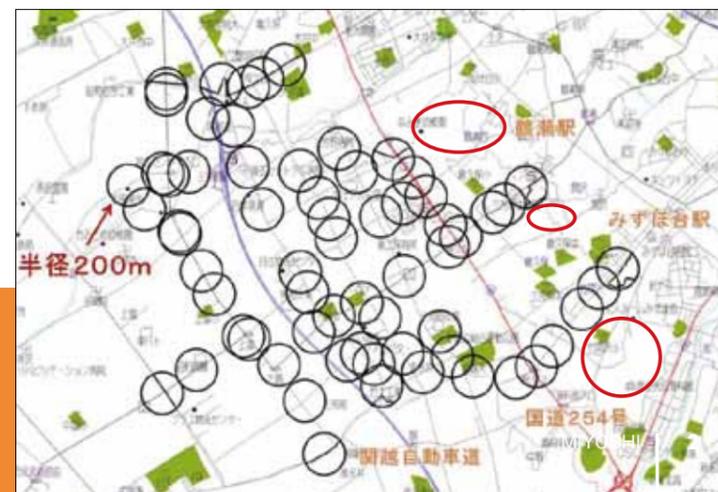
町内のライフバス停留所がデマンド交通の乗降場にもなります。



運行期間中、乗降場に、上記の看板が掲げられます。乗降場の詳細は次のページで。



1人1回利用で、共通乗降場間であれば、どれだけ走っても300円。



町内の公共交通の現状を表した図。赤い円で囲まれているところが「交通空白地域」。そのほかの円は「バス停から半径200m以内」を表している。